

建設産業常任委員会

1 事務事業評価

令和4年度建設産業委員会が所管する事業のうち、5事業を抽出し、成果の検証をおこないました。

(1) 農業ビジョン（農業振興ビジョンの実現に向けて）

●事業概要：府中市農業振興ビジョンを策定し、「次世代につなぐ持続可能な農業・農村の確立」を将来像とし、「活力ある強い農業の実現」及び「魅力ある農村の創造」を目標として取り組まれました。

●今後の方向性 【現状のまま継続すべき】

●検証結果に対する提言

新規就農者の育成は着実に結果が出ており、今後もきめ細かく相談が行える体制を維持し、更なる新規就農者を確保できるよう事業を継続していただきたい。更なる事業展開に向けて、6次産業化を見据えた拠点整備についても検討されたい。

(2) i-coreFUCHU を活用した賑わいづくり

●事業概要：JR 府中駅周辺の整備により、新たな魅力を創出することで、子育て世代、女性や若者などの交流を促進することを目的として取り組まれました。

●今後の方向性 【現状のまま継続すべき】

●検証結果に対する提言

本事業の賑わいづくりについては、順調に効果を発揮していると考えます。第2期整備エリアのオープンに向け、多世代の方が集える拠点となるよう近隣施設と連携し、事業の継続と第3期整備に向けて設備等を早期に検討され準備を進められたい。

(3) ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ

●事業概要：ドローンに関する実証実験の支援や活用に取り組むことで、産業、人材、研究機関等が集積する「ドローンのまち」を目指すことを目的として取り組まれました。

●今後の方向性 【一部見直しのうえ継続すべき】

●検証結果に対する提言

ドローンの活用で地域課題を解決することは理解できるが、専門人員の確保や市職員の免許取得等の試みが必要と考える。また、産業の集積地を目指すならば、ドローン企業の開発・誘致数などの目標をたてられ、取り組んでいただきたい。



(4) 民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり

●事業概要

市内3つのキャンプ場において、民間事業者のアイデアやノウハウを活用することで、更なる誘客を目指し、利用者にとって満足度の高い施設となることを目的として取り組まれました。



●今後の方向性 【現状のまま継続すべき】

●検証結果に対する提言

民間事業者のアイデアやノウハウを取り入れることにより、キャンプ場の賑わいと利用者増を期待するが、ワーケーション施設については、その実態と費用対効果の分析をおこなっていただきたい。

(5) 歴史的建造物の保存・活用事業（分散型ホテルと恋しき）、食の魅力発信事業

●事業概要

選ばれる観光地づくりとして、恋しきは建物の保存だけではなく、活用することと周辺に点在する歴史的・文化的資源を活かし連携することで誘客を高めることを目的として取り組まれました。



恋しき

●今後の方向性 【一部見直しのうえ継続すべき】

●検証結果に対する提言

「恋しき」は府中市のシンボルとして観光振興に寄与するものと期待するが、「恋しき」を活用した分散型ホテル事業としての取り組みの方向性が見えない。どのように活用するなどの方向性を明確にした上で、事業を進められたい。

2 委員会の活動

(1) 管内視察

- 出口川湧水処理施設〔令和5年9月27日(水)〕

(2) 行政視察〔令和5年7月11(火)～13日(木)〕

- 「新しい村」の取り組み（埼玉県宮代町）
- ドローンを活用した橋梁点検（千葉県君津市）
- 公園を核としたまちづくり（東京都豊島区）

(3) 意見交換会

- 府中市農業委員会〔令和5年9月28日(木)〕
- 府中市観光協会〔令和5年10月2日(月)〕
- 府中市管工事組合〔令和5年10月2日(月)〕

出口川湧水処理施設

